

フェアライト | POST

操作感

フェアライトは、コンパクトなデスクトップオーディオ・ポストシステムから、大規模なミクシングコンソールまで、人間工学に基づいたコントロールサーフェスを研究してきました。トラスポートボタン、モニターコントロール、高品質フェーダ、そしてジョグホイールなど、コントロール毎に特化した操作環境を実現しています。これに加えて、特許を有しているピクチャキー技術により、編集やセッティング作業毎に最適なコマンドボタンを使用することができます。

その結果、全ての基本的な編集やミクシング作業で驚異的なスピードアップを実現しました。

編集機能

クリアな表示ディスプレイと超高速操作感による編集は、常にフェアライトの核となる機能です。さらに、時間伸縮を行うためのクリップベンダ機能により、1つのクリップの長さを映像に合わせることができます。

ハードウェアベースの信号処理パワーと、専用のメニューとキーにより、フェアライトシステムは効率的かつユーザフレンドリーな編集を実現しました。

ミクシングと処理 [1]

フェアライトの CC-2 オーディオプロセッサにより、大規模な制作も容易に行うことができます。最大 1,000 トラックのミクシング、128 バス構成、そして 2D および 3D オーディオフォーマットに対応しています。すべてのチャンネルとバスは、マルチバンド EQ とダイナミクス機能を持っています。さらに各チャンネルあたり 6 つの VST プラグインを使用することができます。

モノ、5.1、7.1 から 22.2 までのチャンネルおよびバス構成にフレキシブルに対応しており、どのようなサイズのカスタムバス構成も組むことができます。最大 24 のサブミクシングバスをミクシングしてメインバスに信号を送ることができます。

最大 192 の信号を同時に録音することができます。

フェアライトの第 6 世代オートメーションシステムは、スローモーションミクシング、グラフィックによる編集、オーディオおよびビデオのオートメーションデータを含むオーディオのコピー・ペーストなど、最新のオートメーション機能に対応しています。

MADI、アナログおよびデジタルフォーマットなど多様なインターフェースに対応した最大 480 チャンネルのオーディオ入出力などが要求される現場に最適なシステムです。

それらに加えて、フェアライトの CC-2 オーディオプロセッサは、ミリ秒を下回る遅延での信号処理が可能です。

[1] V5.1 ソフトウェアで対応 (2015 年第 2 四半期にリリース予定)

3D サウンド

Auro-3D、Dolby Atmos、DTS MDA などの 3D サウンドフォーマットでのコンテンツ制作ニーズに応えられるよう、フェアライトは 3D サウンドにも対応した将来性のあるシステムをご提供します。

モニタリングとメータリング

モニタリングシステムにより、ハードウェアを追加せずに、全ての内部バスと最大 16 のユーザ独自の外部ソースを聴くことができます。

最大 9 つのスピーカセッティングに対応しており、選択したソースを最適なアップ/ダウンミックスを経由してスピーカで聞くことができます。そして、モノとの互換性チェックやフォーマット・オーバーライドなどの最新機能も搭載しています。

複雑な設備に対応するために、最大 64 個のスピーカまで制御できる B チェーンプロセッサが用意されています。

全てのチャンネルとバス上のデジタルピークメータと、メインバス上のラウドネスメータにより、システム上のどのオーディオレベルも容易にモニターすることができます。

オンボード・ビデオ

フェアライトの全てのオーディオポストシステムは、4K までのあらゆるビデオフォーマットに対応し



たビデオキャプチャとプレイバック機能を持っています。ビデオ出力は、PC グラフィックスあるいはサードパーティのビデオ出力デバイスが選択できます。

映像表示付のキューポイントにより、プロジェクト内の任意の時点で即座にロケートすることができます。映像とオーディオトラックを同時に編集したり、ディゾルブしたりすることができる完全な AV 編集機能を持っています。

音源テークリストのインポート、カスタマイズ可能な警告音、テーク消去などの機能を持った完璧な ADR パッケージが利用できます。

業界で使用されている全てのフォーマットに対応した EDL による、映像の即時編集も可能です。

ワークフローのサポート

フェアライトは、皆様のワークフローにスムーズに導入できるオーディオポストプロダクションをご提案します。

AAF、OMF、Quicktime、MFX、MPEG など、多くのファイルフォーマットとの互換性を保証します。サポートしているフォーマット間の変換機能はシステムソフトウェアに含まれており、異なるフォーマット間で、ミックスしたオーディオやビデオを、レンダリングすることなく使用することができます。

システム・インテグレーション

I/O を選択することで、現有設備にフェアライトのポストシステムを完璧に導入することができます。最大 500 のオーディオポート、同期、9 ピン制御、そしてプログラマブル GPI/O などが用意されています。

多様なファイルフォーマット間の変換機能により、フェアライトは、放送やポストプロのワークフローで必要な最新のメディアマネジメントシステムに対応できます。

広範囲なサーチ機能と便利なオーディション機能により、効果音データベースから必要な音を探し出して、音を容易に張り付けたり差し替えたりすることができます。

Quantel や Adobe® など業界最先端メーカーの映像制作ワークフローにも、フェアライトは対応することができます。

カスタマイズ

コントロールサーフェスには、フェアライト独自のピクチャキーが採用されており、作業内容に合わせて、そのキーのラベルや機能が瞬時に変わります。常に正しいコマンドを表示するこのキーにより、ベストなカスタマイズをすることができます。

さらに、オペレータがインターフェースを容易に使用できるように、フェアライトの iCAN (Integrated Control Across Network) 技術を利用して、インターフェースのレイアウトをカスタマイズすることができます。

iCAN にビルトインされているスクリプト言語により、フェアライトシステムに異なる機能を追加することもできます。

フェアライト | SOLO

全ての機能に対応したマウスベースのオーディオポストシステム

SOLO は、全ての機能を揃え、マウスとキーボードで直感的なオーディオ編集を行うことができます。慣れ親しんだ 7 ポイント編集モデル (クリップ上の決められた 7 点をマウスで動かすことによる編集) により、レベル、フェード、フェードタイムなどを素早く編集することができます。先進のトラックディスプレイ上で、革新的な操作方法によるシンプルなプロジェクトナビゲーションを行うことができます。

メインスクリーンは、編集とミクシングのエリアに分かれています。マウスベースのミクサーインターフェースでは、全てのチャンネルを見ることができ、全チャンネルのレベル、パン、ミュート、メータリングを即座に



操作することができます。先進のオートメーションは、多様なタッチモードが選択でき、オートメーションを曲線で見ることにより、録音編集の状況を確認しながら編集操作を容易に行うことができます。

業界標準のキーボードショートカットにも対応し

ており、オペレータ独自のカスタマイズも可能です。

SOLO は、コントローラベースのフェアライトポストプロ製品と完全な互換性があり、オーディオとビデオの機能も同じです。

フェアライト | PYXIS

デュアルチャンネル HD/4K ビデオレコーダ

PYXIS は、スクリーニング、フィルムダビング、ADR セッション、キャプチャリング、レイバック、変換などの多様なビデオアプリケーションに対応した、多用途に使える高速かつパワフルなデュアルチャンネル HD/4K ビデオレコーダです。オーディオにも対応しているため、放送、映画、ポストプロダクション、ライブイベントや、多くのビデオプレゼンテーションなどの用途にも適しています。

グラフィック・ユーザインターフェースはビデオアプリケーションに最適化されており、サムネイル画像を持ったロケートボタンや、編集コマンド用の大きなボタンなどが用意されています。昔のテープベースのビデオ編集と同様な編集ができる機能もあります。

また、ビデオビュー、波形の時間表示、フィルムストリップスクロール、メータリング、トランスポート、クイックアクセスキー、ピクチャーベースのキューポイントなどの機能も持っています。そして PYXIS は、2 ストリームの HD、シングルストリーム の 4K、192 オーディオトラック、オンボードモニタミクサーなど、オペレータの更なる要求に応えることができます。

PYXIS は、キット、あるいはラックマウント可能な 4U のファクトリプロダクトとして購入可能です。ラックマウントバージョンは、ビルトインされた 7 インチのタッチスクリーン、ユーザフレンドリーなジョグシャトル、デッキコントロール機能を利用して、マシンルーム内で容易に操作できます。外部 GUI を用いれば、より多様な編集が可能になります。



フェアライト | XSTREAM

XSTREAM – パワフルで操作感に優れたコンパクト・オーディオポストシステム

先進の操作感に優れたこのエディタそしてミクシングコントローラには、フェアライトの特許技術であるピクチャキーが採用されており、人間工学的に優れた仕事環境を提供します。ピクチャキーは即座にそのラベルや機能を変えることができ、コントロールサーフェスを作業に合わせて変更できます。



XSTREAM は、究極の操作環境を実現します。つまり、より少ないキーストロークと手の動きで操作でき、かつ、オペレータはその時点で利用できるコマンドを完全に把握することができます。

フェアライトの iCan ソフトウェアとドラッグ&ドロップレイアウト・エディタを利用すれば、操作レイアウトをカスタマイズすることができるため、どの機能を、どこに、そしていつ表示させるかを、オペレータが決めることができます。

XSTREAM は、コマーシャル、TV 番組制作、音楽プロジェクト録音など、処理量が膨大なポストプロダクションに最適です。録音、編集、ビデオガイド、ミクシング、プラグイン、ファイル変換などに完璧に対応しています。

先進的な編集機能は、パラメータコントロールの操作感に優れた 6 つのタッチセンス・ロータリエンコーダや、ズームやトランスポートコントロールのためのハイレゾ・ジョグホイールによって、さらに使いやすくなっています。

XE-6 フェーダオプションを取り付けると、XSTREAM のミクシングコントロールが最大 24 フェ

ーダまで拡張されます。各 XE-6 は、6 チャンネルのフェーダを持っており、タッチセンス付のパンポット、モータ駆動フェーダ、メータ、ソロ、ミュート、コールボタンも搭載しています。

フェアライト | XYNERGI

XYNERGI – 究極かつフレキシブルなフルサイズ・デスクトップオーディオポストプロシテム

XYNERGI エディットコントローラは、XSTREAM の主要な機能を持ち、さらに 79 個のハイレゾカラーの文字表示機能付きピクチャキーも持っているため、より複雑なプロダクションにおいても素早いコントロールを行えます。上部にあるキーは、30 個のマクロボタンとして使用することができます。そして、48 トラックの選択、編集コマンド、さらには、広範囲な言語に対応したフルサイズの QWERTY キーボードとして使えるキーも配置されています。



タスクベースのメガモードキーは、録音、ミクシング、編集などの機能に対して、一括した操作環境を提供します。さらに、機能が固定された多くのキーを使えば、数字入力、トランスポート、ジャンプなどを素早く行うことができます。

さらにフレキシビリティを高めるために、フェアライトの新しい iCan ソフトウェアとレイアウトエディタを使用すれば、ファンクション・レイアウトをカスタマイズすることができ、どのボタンを、どこに、

いつ表示するかを決めることができます。

ハイレゾ・ジョグホイールによる正確なジョグシャトルコントローラは、映像と同期しながらオーディオをスムーズにスクラブコントロールすることができます。8 個のタッチセンス・ロータリエンコーダで、レベル、パン、EQ、ダイナミクスなどのミックスパラメータを操作感よく正確にコントロールすることができます。

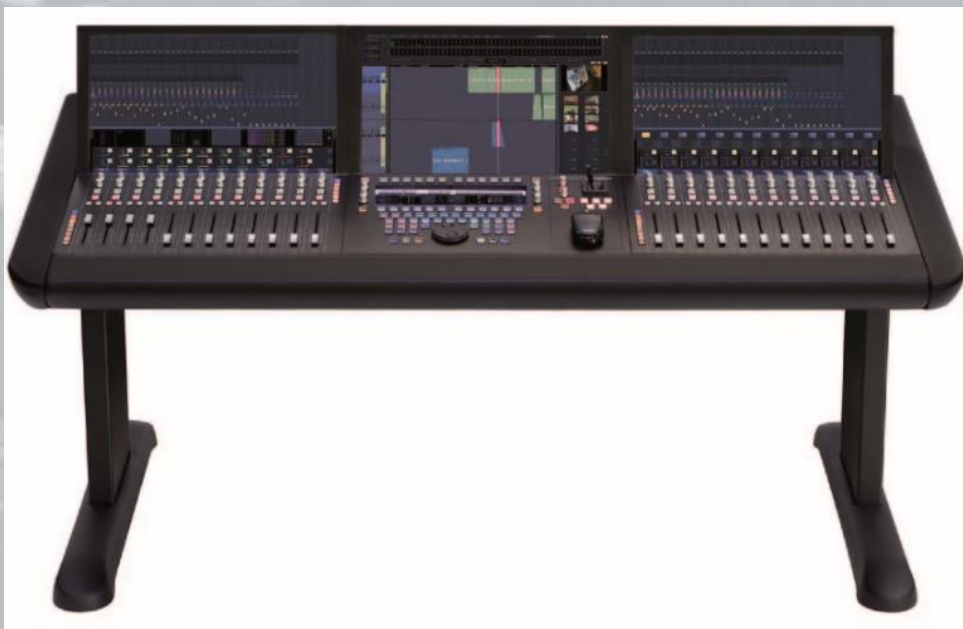
モニタリング専用セクションは、コントロール・ルームとスタジオのレベルコントロールや、ミュート、ディーマー、トークバックなどに使用します。

XYNERGI システムは、XSTREAM と同じ操作性を持ちながら、目的に応じて変化するコントローラをより多く持っているため、さらに多用途に使用することができます。プロダクションチェーンにうまく適合し、オーディオ録音、編集、プリミクシング、ファイナルミックスを高品質に行うことができます。さらに、ビデオトラックの編集再生や、メディアサーバとのインターフェース構築も容易に行えます。

フェアライト | QUANTUM

全機能対応の中型オーディオポストコンソール

QUANTUM は、制作のための高速かつ操作感に優れたミクシング環境を実現します。最大 1000 オーディオトラックを必要とするような HD 映像用のビデオプロジェクトや、大規模なオーディオコンテンツ制作に最適です。



フェアライト独自の特許技術ピクチャキーにより、**QUANTUM** のセンターセクションは大変コンパクトながら、強力フレキシブルな作業環境を提供します。全部で 43 個のピクチャキーは、そのラベルと機能を瞬時に変更することができるため、コントロールサーフェスのセンターセクションを作業内容に応じで変更することができます。

ハイレゾ・ジョグホイールとグラフィックディスプレイにより、正確な音の配置や時間のコントロールが可能です。

トラック選択や EQ のような編集機能を行うための 28 個のボタンと 6 個のロータリエンコーダがディスプレイの周りに配置されており、編集機能をさらに快適にしています。コントロール・ルームとスタジオモニタリングのための専用モニターコントローラも、このあたりに配置されています。

サラウンドサウンド機能も標準装備されており、最大 7.1 までの標準的なフォーマット全てに、ミクサーとモニターシステムが対応しています。パンニングはジョイスティックで簡単に行うことができ、2 次元空間内に音像を正確に定位させることができます。

センターセクションの上部に配置されたタッチセンス TFT スクリーンは、編集のタイムラインを表示します。オンボードビデオトラックを全画面表示させるなど、このスクリーンは多用途に使用することもできます。

チャンネルセクションには 12 個のフェーダストリップがあり、それぞれが、モータ駆動フェーダ、様々なスイッチ、2 個のタッチセンス・ロータリコントローラを持っています。コントロール機能はハイレゾ・カラーディスプレイに表示されます。このディスプレイには、メータや EQ カーブなど、コントロールに必要な画像も表示され、ミックス作業の状況を即座に確認することができます。

フェーダ構成は、12 あるいは 24 フェーダを選択することができます。**QUANTUM** では、ユーザ

がそれぞれの作業環境に合わせて、スタンドアロンのシャーシタイプか、モジュラー構成タイプの選択をすることができます。

QUANTUM は、コンパクトながら、直感的で人間工学に基づいたフレキシブル性の高いワークスペースを実現しており、ミクシングに集中することができます。

フェアライト | EVO

ハイエンドなモジュラー型オーディオポストコンソール

フェアライト **EVO** コンソールは、自由なコンフィグレーションとカスタマイズ性に優れ、作業内容に完璧に合致した機能を必要十分なサイズで実現します。

センターセクションには、フェアライト特許技術による 79 個のピクチャキーが配置され、重要な全てのコントロールと編集機能に、素早くかつ正確にアクセスすることができます。ピクチャキーはそのラベルや機能を瞬時に変更することができるため、行っている作業に応じてコンソールサーフェスを変更することができます。このピクチャキーに加えて、EQ やその他の編集処理コマンドを実行するために、16 個のファンクションキーと 8 個のタッチセンス・ロータリコントローラが用意されています。

EVO のセンターセクションは、多様な機能を小さなスペースに収めているため、ベストなリスニングポジションを離れて動きまわる必要性を極力少なくすることができます。すなわち、機能性を高めるために



システムが複雑になる問題を、物理的なワーキングスペースを減らし、オペレータがシステムに慣れるための時間を短縮することで、解決しています。

正確で素早いコントロールが可能なビルトイン・モニタリングシステムにより、コントロール・ルームとスタジオのレベルコントロールをはじめ、ミュート、ディマー、トークバックなどを快適に行うことができます。

さらにフレキシブルな操作環境が必要であれば、1つあるいは2つのインテリパッド・サブパネルを追加してください。24個のピクチャキーと4ページのキーで、192通りの機能に素早くアクセスできるようになります。フェアライト iCan ソフトウェアとライアウトエディタを用いれば、センターセクションとインテリパッドの両方のファンクション・レイアウトをカスタマイズして、どのボタンが、どこに、そしていつ表示されるかを自由に決めることができます。

センターセクションに、ジョイスティック、オートメーションコントロール、トラックボール、拡張モジュールなど、8タイプのサブモジュールを加えることで、さらに機能を拡張することができます。

EVO は、最大5つまでのフェーダパネルで構成することができ、その場合、全部で60個の音をフェーダで直接コントロールすることが可能になります。各フェーダストリップには、フェーダ、様々なコントロールボタン、タッチセンス・ロータリコントローラ、トラック名を表示するハイレゾ・カラーディスプレイ、メータ、そしてその他の表示機能などが備わっています。

フェーダパネルには、オプションとしてインラインパネルを追加することができます。インラインパネルは、チャンネルモードあるいはインラインモードで動作させることができます。インラインモードの場合、各フェーダストリップに追加された4個のロータリエンコーダと4個のスイッチに、そのチャンネルで操作する機能のパラメータを個別に割り当てることができます。すべてのエンコーダとスイッチは2つの機能を持っており、全部で192通りのパラメータを指先でコントロールすることができます。

EVO パネルには標準的なスタンドアロン型のシャーシが用意されています。シャーシの組み合わせ方で、

最大4.5m幅のコンソールを構成することができ、その形状は、ストレート型、L型、U型のいずれかとなります。すなわち、コンソールは必要に応じていかようにもカスタマイズすることができます。また、EVO パネルはモジュール型にすることもでき、カスタム製のコンソールに組み込んで設置することも可能です。

EVO は操作感に優れています。ミクシングや編集の操作性を高めることを目指して設計されています。ミックス作業において、物理コントローラは、必要な機能への容易なアクセスや、正確な調整に役立ちます。さらに、EVO はとてもビジュアルに優れています。ラベルを表示できるピクチャキー、全てのフェーダ上のハイレゾ・カラーディスプレイ、優れたグラフィックでチャンネル毎の作業を視覚的に示すスクリーンなど、視覚的なフィードバックで気持ちよく作業を行うことができます。

CC-2 (48 kHz 動作)における V5.1 [1]ポスの仕様

チャンネル構成

- ・ 最大 256 個のトラックとライブモードに切り替え可能なフルチャンネル
- ・ 最大 192 チャンネル録音
- ・ 最大 768 の追加プレイバック専用チャンネル

チャンネル機能

- ・ クリップタイムラッピングとサンプルレート変換
- ・ 6 バンド EQ
- ・ エクスパンション/ゲート、コンプレッサ、リミッタ
- ・ インサートポイント (フルチャンネルのみ)
- ・ ダイレクトアウト (フルチャンネルのみ)
- ・ 4 バンドクリップベース EQ

バス構成

- ・ 最大 128 バスを下記の通り構成可能
 - ・ 24 モノマルチトラックバス
 - ・ 24 サブバス
 - ・ 24 Aux バス
 - ・ 8 メインバス
- ・ Aux とサブバスはメインバスに直接ミックス可能
- ・ AFL、PFL、インプレースソロ
- ・ 三次元音響や 24 ステム構成まで対応
- ・ 32VCA グループ

バス機能 [2]

- ・ 4 バンド EQ
- ・ コンプレッサとリミッタ
- ・ インサートポイント
- ・ ダイレクトアウト

プラグイン

- ・ 各チャンネルあるいはバスに対し最大 6 VST プラグイン
- ・ Xynergi および EVO コントローラで、プラグインの高操作感コントロールが可能
- ・ プラグインを完全にオートメーション可能

I/O

- ・ 450 入出力までサポート
- ・ I/O デバイスの選択、12 から 66 までのアナログとデジタル信号の組み合わせが可能
- ・ ビルトイン 64 チャンネル MADI I/O (同軸)

- ・ 6 MADI I/O (同軸あるいは光) の追加オプション
- ・ ワードクロックおよびビデオへの同期
- ・ LTC と MIDI の読み書き

ビデオ

- ・ 最大 2 トラックまでの再生
- ・ キャプチャは 1 トラック
- ・ SD から 4K までの精細度
- ・ ゲンロック I/O オプションに対応

ファイルフォーマットとワークフロー

- ・ 標準的なオーディオ交換ファイルの読み書き
- ・ 多くの SD および HD プロ用ビデオフォーマットの読み込み
- ・ 同じプロジェクトで異なるビデオフォーマットの混在が可能
- ・ Adobe® Anywhere と Quantel QTube のワークフローをサポート

オートメーション

- ・ 全チャンネルとバスのパラメータがオートメーション可能
- ・ 多様なタッチモード
- ・ オートメーションデータのグラフィック編集
- ・ オーディオ/ビデオ/オートメーションの同時編集

その他

- ・ ミリ秒以下の遅延でのオーディオ信号処理
- ・ 最大 24 ボイスと 8 出力バスまでのカートファシリティ
- ・ ビルトイン 9 ピン・マシンコントロール
- ・ キューリスト、ストリーマ、マシンコントロールを含んだ ADR 機能
- ・ 検索と即時オーディションが可能な効果音データベース
- ・ オートコンフォームとリコーフォーム・ソフトウェア
- ・ ビルトインされたスクリプト言語およびピクチャキー・マッピングツールによるカスタマイズ
- ・ プログラマブル GPI/O 拡張サポート

[1] V5.1 は 2015 年第 2 四半期リリース予定。

[2] マルチトラックバスには備わっていません。

フェアライト | POST PRODUCTION MODELS

機能		XSTREAM	XYNERGI	QUANTUM	EVO
外形	デスクトップ	Yes	Yes	No	Yes
	テーブル置型シャーシ (TT)	No	No	Yes	Yes
	インサーフェース・モジュール(IS)	No	No	Yes	Yes
	スタンドアロンシャーシ	No	No	Yes	完全モジュール対応
編集セクション	キー総数	71	116	71	116
	ソフトキー	24	16	24	16
	ラベル表示ピクチャキー	43	79	43	79
	チャンネル選択キー	24	48	24	48
	数字パッド	ソフト	専用	ソフト	専用
	QWERTY	簡易、固定	完全、国際	簡易、固定	完全、国際
	ハイレゾ・ジョグホイール	1	1	1	1
アサイナブル・エンコーダ	6	8	6	8	
モニタリング	コントロールルーム	ソフト	ボリューム+ミュー ート+ディマー	ボリューム+ミュー ート+ディマー	ボリューム+ミュー ート+ディマー
	スタジオ	ソフト	ボリューム+ミュー ート	ボリューム+ミュー ート	ボリューム+ミュー ート
	トークバック	ソフト	1	1	1
	その他	未対応	未対応	5つのプログラマ ブルキー	フルコントロール はオプション
フェーダス トリップ	フェーダ	100mm、モータ駆 動、タッチセンス	100mm、モータ駆 動、タッチセンス	100mm、モータ駆 動、タッチセンス	100mm、モータ駆 動、タッチセンス
	スイッチ	4	4	4	4
	エンコーダ	1	1	2	1
	文字表示	128x128 カラーデ ィスプレイ	128x128 カラーデ ィスプレイ	128x42 カラーデ ィスプレイ	128x128 カラーデ ィスプレイ
チャンネル パネル	エンコーダ	未対応	未対応	未対応	4/チャンネル
	スイッチ	未対応	未対応	未対応	4/チャンネル
	コントロールスイッチ	未対応	未対応	未対応	16/チャンネル
オプション	GPIO	外部のみ	外部のみ	内部と外部	内部と外部
	コントロールパネル	最大 6 フェーダの サイドユニット	最大 6 フェーダの サイドユニット	インテリパッド (TT バージョンの み)	インテリパッド、 オートメーショ ン、トラックボ ール、ビデオ、XLR
	ジョイスティック	No	No	標準	Yes
システム	ディスプレイ	シングルあるいは デュアルモニタ、 任意サイズ	シングルあるいは デュアルモニタ、 任意サイズ	1 × 20 インチ タッチスクリーン /ベイ、ミクサー オーバービュー・ スクリーンはオプ ション	1 × 20 インチ タッチスクリーン /ベイ、ミクサー オーバービュー・ スクリーンはオプ ション
	最少構成	コントローラのみ、 38cm×32cm	コントローラのみ、 51cm×32cm	12フェーダ、70cm ×56 cm TT	12フェーダ、70cm ×76cm TT
	最大構成	コントローラと 24 フェーダ、 146cm×32cm	コントローラと 24 フェーダ、 159cm×32cm	24 フェーダ、 162cm×98cm、ス タンドアロンシャ ーシ	60 フェーダ、 260cm×97cm、ス タンドアロンシャ ーシ

フェアライト XE-6 を使用した時のみ

弊社は製品に対する厳しいご意見を真摯に伺い、スタジオ環境をよりよくするために多くの時間を費やしてきました。ですから、お届けする製品により、シームレスなワークフローと、作業時間短縮が実現できるものと確信しております。皆様のご要望にお応えすることが、製品競争に勝ち抜くための最善の策です。